



PORTERS Corporation

IR Report 2026.09 |

# 【補足資料】通期業績予想の修正および特別損失の発生見込みに関するお知らせ

ポーターズ株式会社（東証グロース：5126）

# 2026年12月期 通期業績予想の修正

- 売上高
  - ・株式会社KIKAN flexが開発するソフトウェアのリリース延期に伴い、当初予想を70百万円下回る見込み
  - ・ポーターズ株式会社において、株式会社KIKAN flexのリリース延期によるポーターズの導入の消滅及び納品延期に伴い、当初予想を62百万円下回る見込み
  - ・atBグループでは、バングラデシュでの求人メディアの有料獲得求人の獲得に苦戦し、当初予想を36百万円下回る見込み
- 利益
  - ・営業利益及び経常利益については、主に売上高減少に伴い当初予想を130百万円下回る見込み
  - ・親会社株主に帰属する当期純利益については、株式会社KIKAN flexにて計上したソフトウェア資産などについて減損損失304百万円を計上する見込みのため、当初予想を大きく下回る見込み

| 単位：百万円              | 2025/12期<br>実績 | 2026/12期<br>当初予想 | 2026/12期<br>修正予想 | 当初予想比 |        |
|---------------------|----------------|------------------|------------------|-------|--------|
|                     |                |                  |                  | 増減額   | 増減率    |
| 売上高                 | 2,137          | 2,469            | <b>2,300</b>     | ▲169  | ▲6.9%  |
| 営業利益                | 358            | 331              | <b>201</b>       | ▲130  | ▲39.4% |
| 経常利益                | 368            | 331              | <b>201</b>       | ▲130  | ▲39.4% |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 129            | 212              | <b>▲113</b>      | ▲325  | —      |

# 各セグメント毎の要因分析及び今後の施策

## ポーターズセグメント

### ■ 要因分析

- 株式会社KIKAN flexのリリース延期に伴い、同時納品であったPORTERSシリーズの今期導入が消滅し、売上・利益ともに約40万円の減少
- 有効商談自体は継続して創出できている一方で、一部顧客に対する要件整理や意思決定者との合意形成に時間を要し、結果として納品の後ろ倒しが発生

### ■ 今後の施策

- 部署を横断したチームでの提案体制を構築することで、有効商談から納品までのスピードを加速させる

## 新規投資事業セグメント

### ■ 要因分析

- 株式会社KIKAN flexについて、ソフトウェア開発及び運営を進めてきたが、ソフトウェアの要件が想定以上に膨らみ、想定していた開発期間が当社予定より長引いた

### ■ 今後の施策

- 株式会社KIKAN flexの完全子会社化に伴い、機動的な事業推進を可能にする

## 本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成しています。本資料は、日本、米国、その他の地域における有価証券の販売の勧誘や購入の勧誘を目的としたものではありません。本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されたものにすぎません。さらに、こうした記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の結果は環境の変化などにより、将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内外の経済情勢や当社の関連する業界動向等が含まれますが、これらに限られるものではありません。また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。